

いきいき せいかつ 下

学習内容一覧表

単元	配当 時数	予備 時数	配当時数のうち、学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる時数 / 年間計画上の留意点	
◆わくわくするね 2年生	3	2	0.5	
◆おいしい 野さいを そだてよう (1学期)	6		1.5	たねまきを行っていない場合は、優先的に行う。苗から育てることも考えられる。
◆レッツ ゴー 町たんけん	13		1.0	町探検が可能になった段階で取り上げる。
◆つくろう あそぼう くふうしよう	11		0.5	
◇わくわく なつやすみ	1		0.0	
◆みんな 生きて いる	9	6	1.5	
◆おいしい 野さいを そだてよう (2学期)	8		1.0	栽培状況に応じて、指導時期を調整する。
◆もっと 行きたいな 町たんけん	19		3.5	町探検が可能になった段階で取り上げる。
◆つたえ合おう 町の すてき	7		0.5	町探検の実施状況に合わせて取り上げる。
◆これまでの わたし これからの わたし	14	6	4.5	
計	91	14	14.5	
年間授業時数	105			

本資料は、平成27年度版教科書「いきいき せいかつ 下」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。

具体的な活動や体験を通して学ぶ生活科の教科特性や、低学年という発達段階、家庭環境の多様さを踏まえると、生活科の学習は、できるだけ学校で行うことが望ましいと考えます。地域や学校の状況に合わせて、適宜、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。

備考

- ・地域の方との交流や施設の利用にあたっては、感染の状況に十分に注意することが必要となります。
- ・手をつなぐ、歌を歌う、ペアでの伝え合いなどの活動についても、状況を見て、代替の活動を検討するなどの配慮が必要となります。
- ・学校の授業以外の場での学習活動において、インターネット上のデジタルコンテンツ等を活用することも考えられます。その際は、児童の通信環境に配慮するとともに、インターネット利用のルールとマナーを指導しておくことが望まれます。

単元名

わくわくするね 2年生

教科書 下巻 p.2 ～ 5 単元の配当時間 3 時間（そのうち※の時数 0.5時間）

単元の目標

2年生になって嬉しいことやわくわくすることを見つけたり，1年生に喜んでもらえることを計画したりする活動を通して，新しくやってみたいことや楽しみにしていることがたくさんあることに気付いたり，自分の成長や役割が増えたことが分かるとともに，進級した喜びやこれからの自分の成長に願いをもって意欲的に生活することができるようにする。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
わくわくするね 2年生 （1時間） 進級を喜び，新たな抱負を話し合ったり，1年生に喜んでもらえることを計画したり準備したりできるようにする。	知・技	上級生になったことを自覚し，1年生に接することを通して，自分の成長に気付いている。	p.2-3 ① 進級の喜びや抱負を話し合う。 ② 1年生が喜んでくれることを考える。 ③ 1年生が喜んでくれることの計画を立てたり，準備をしたりする。	0.5	・2年生になって頑張りたいことややってみたいことをカードにかく。	●活動後に手洗い・うがいを行う。
	思・判・表	学校案内や1年生の世話など，自分たちにできることを考え，工夫して計画したり，準備したりしている。				
	主体	進級の喜びをもって，1年生の世話をしたり学校案内をしたりしようとしている。				
1年生を むかえよう （2時間） 計画したことをもとに，1年生の立場に立ってプレゼントをしたり，学校案内をしたりできるようにする。	知・技	上級生になったことを自覚し，1年生に接することを通して，自分の成長に気付いている。	p.4-5 ① 1年生が喜んでくれることの計画を立てたり，準備をしたりする。 ② 学校案内や一緒に遊ぶ会を開く。 ③ 感想を出し合い，これからもやってみたいことを話し合う。	0		●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○1年生と一緒に学校探検をしたり，遊ぶ会を開いたりする活動は，感染症対策の観点から実施できない可能性も考えられる。その場合は，1年生に絵やメッセージカード，ビデオレターなどを贈るなどの活動に代替することが考えられる。
	思・判・表	学校案内や1年生の世話など，自分たちにできることを考え，工夫して計画したり，準備したりしている。				
	主体	進級の喜びをもって，1年生の世話をしたり学校案内をしたりしようとしている。				

単元名

おいしい 野さいを そだてよう

教科書 下巻 p.6 ～ 17 単元の配当時間 14時間（そのうち※の時数 2.5時間）

単元の目標

野菜を育てる活動を通して、野菜が育つ場所や変化の様子に関心を持ち、世話の仕方を調べたり、人に聞いたりしながら愛着をもって世話をし、それらに生命があることや成長していることに気付くとともに、親しみをもって大切にすることができるようになる。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
どんな 野さいを そだてようかな （2時間） 自分が育てたい野菜の種や苗を決め、おいしい野菜が育つようお願いしながら、植えることができるようにする。	知・技	自分の育てる野菜の種や苗の特徴に気付いている。	p8-9 ①例示してある6種類の植物を参考にしながら、育てたい野菜を決める。 ②栽培容器と培養土を準備する。 ③苗を植える。 ④苗を絵や文で表現する。	0.5	・休校期間中に、春植えの野菜（トマト、ピーマンなど）の栽培活動を家庭などで行った場合は、そのようすを伝え合い、本時と次時を合わせて1時間扱いとすることが考えられる。	○たねまきを行っていない場合は、優先的に行う。苗から育てることも考えられる。
	思・判・表	育ててみたい野菜を選んだり決めたりしている。				
	主体	生長を楽しみにしながら、栽培の見通しをもとうとしている。				
せわをしよう（1時間） 自分が育てたい野菜の種や苗を植え、生長に応じた観察や世話をすることができるようにする。	知・技	育てている野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。	p10-11 ①大きく育った様子を観察し、記録する。 ②世話の仕方を考えたり調べたりする。 ③サツマイモはどんなふうにできるのか予想する。	0		●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。
	思・判・表	野菜の育つ場所、変化や生長について考え、世話の仕方を工夫している。				
	主体	栽培方法を本で調べたり、人に聞いたりして、工夫したりしようとしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
しゅうかくをしよう（夏野菜）（3時間） 自分が育てた野菜が生長し，花を咲かせたり，実をつけたりしたことを喜ぶことができるようにする。	知・技	野菜への親しみが増し，上手に世話ができるようになったことに気付いている。	p.12-13 ① 野菜を収穫する。 ② 野菜を味わう。 ③ 栽培活動を継続する。	1	・収穫した野菜を家に持ち帰り，食べたときの思いや家の人の感想をカードにかく。	●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。 ○衛生管理の観点から，生活科で栽培した野菜を生の状態で学校で食べるのは避けたい。家に持ち帰らせて，食べたときの思いや家の人の感想など，記録に残したい。
	思・判・表	植物の生長の様子や収穫した時の喜びを自分なりに表現している。				
	主体	咲いた花やできた実に喜びを感じている。				
（↑ここまで1学期　6時間（そのうち※の時数　1.5時間））						
（↓ここから2学期　8時間（そのうち※の時数　1時間））						
しゅうかくをしよう（サツマイモ）（3時間） 自分が育てている植物を観察し，成長にともなう変化に気付き，気付いたことを表現したり成長の仕方について考えたりできるようにする。	知・技	野菜への親しみが増し，上手に世話ができるようになったことに気付いている。	p.14-15 ① イモ掘りをする。 ② サツマイモのつき方を確認する。 ③サツマイモの食べ方を調べる。	1	・収穫した野菜を家に持ち帰り，食べたときの思いや家の人の感想をカードにかく。	●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。 ○サツマイモは，蒸したり焼いたりして加熱調理をするので，学校で食べても問題はない。学校で食べる場合は，事前に食物アレルギーの有無を確認しておく。
	思・判・表	植物の生長の様子や収穫した時の喜びを自分なりに表現している。				
	主体	咲いた花やできた実に喜びを感じている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
みんなにつたえよう （5時間） 自分が育てた野菜の生長の様子を振り返り，身近な人々に伝え合うことに興味をもち，進んで交流することができるようにする。	知・技	自分が野菜を育ててきた様子や喜びが，相手に伝わる楽しさがわかっている。	p.16-17 ① これまでの栽培の様子を振り返り，観察カードをまとめる。 ② 1年間栽培してきたことを伝え合う。	0		
	思・判・表	栽培活動をしたことをもとに，見つけたり，比べたり，たとえたりして，わかりやすい伝え方の工夫をしている。				
	主体	自分が育てた野菜の生長の様子を振り返り，友達や先生・家の人などに伝えようとしている。				

単元名

レッツ ゴー 町たんけん

教科書 下巻 p.20 ～ 35 単元の配当時間 13 時間（そのうち※の時数 1時間）

単元の目標

自分たちが住む町を探検する活動を通して、町の自然、人々、社会、公共物などに関心をもつとともに、自分たちの生活は、町で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
町には どんな ところがあるのかな（1時間） 自分の知っている町のことを紹介しながら、これから行う町探検への意欲をもつことができるようにする。	知・技	自分が住んでいる町について、自分が知っていることはそのなかの一部だけであることに気付くことができる。	p.22-23 ① 登下校時や休日などに、町で見つけたおすすめのものを紹介する。 ② 教科書の町地図などを使って、自分たちの町でも見たことがあるものや、気になるものなどを話し合う。	0		○本単元については、町探検が可能になった段階で取り上げる。
	思・判・表	町にはどんな所があり、どんな人がいるのか考えている。				
	主体	自分が住んでいる町の秘密を話したり、友達の話を開いたりして、町探検を楽しみにしている。				
町たんけんの じゅんびをしよう（2時間） グループごとに町探検の計画を立て、必要なものを準備することができるようにする。	知・技	町探検に必要なものや約束(ルールやマナー，言葉遣い)の大切さに気付いている。	p.24-25 ①みんなで一緒に行ってみたい所を話し合う。 ② 行った先で、どんなことを「見たいか」「聞きたいか」を話し合う。 ③ 町探検のグループで、持っていくものを準備したり，約束事を決めたりする。	0		
	思・判・表	探検に必要なものを考えて，計画や準備をしたり，探検の約束などを考えたりしている。				
	主体	町探検で必要なルールやマナーなどを知り，安全で楽しく町探検が行えるように進んで準備をしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
町たんけんに 行こう （3時間） グループの探検計画にそって町に出かけ，人々と接したり，発見したりしながら協力して，安全に町探検をすることができる。	知・技	町の自然の様子や人々の生活の様子に気付いている。	p.26-27 ① 持ち物や約束事を確認する。 ② グループごとに探検に出かける。 ③ 学校に帰り，発見カードをかいたり，情報交換をしたりする。	0		●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。
	思・判・表	場所やもの，町で出会った人とのかわり，見つけたことや気付いたことなどをカードにかき表すことができる。				
	主体	自分の町に関心をもち，安全に気をつけ，友達と協力して探検したり調べたりしようとしている。				
町の 人に インタビューをしよう（2時間） 相手への挨拶や言葉遣い，マナーなどを考えて接し，自分の思いや願いをもってインタビューを行うことができる。	知・技	町の人にインタビューを行うことを通して町のよさに気付き，さらに町のことを知りたいと思っている。	p.28-29 ① もう一度探検する所を決めて，計画を立てる。 ② 持ち物や約束事，聞きたいことなどを確認し，探検に出かける。 ③ 学校に帰り，発見カードをかいたり，情報交換をしたりする。	0		●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。
	思・判・表	自分の思いや願いをもって接することで，人や場所，ものなどに親しみをもち，その様子を伝えたり，かき表すことができる。				
	主体	公共物や公共施設のルールやマナーを守り，適切な挨拶や言葉遣いに気をつけながら，進んでインタビューしようとしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
見つけた 町の すてきを つたえ合おう（2時間） 町探検を通して気付いたことや楽しかったことなどについて，言葉，絵，動作，劇化などの方法により表現し，伝えることができるようにする。	知・技	町探検で見つけた町のよさを振り返ったり，他者と交流して認め合ったりして，新たなよさに気付いている。	p.30-31 ① 探検カードをかき足して整理したり，発見したことや調べたことなどをまとめたりする。 ②整理した探検カードなどをもとに，発表するための準備をする。 ③ 探検したことを発表し合う。	0.5	・家の人に町探検を通して楽しかったことや気付いたことを話す。	○学級便りを通して，事前に保護者の方に，子どもから町探検の報告があることを伝え，子どもの話を聞いて，質問や感想を言ってもらうように依頼する。
	思・判・表	町探検を通して気付いたことを絵，動作，劇などに自分なりに表現したり，まとめたりすることができる。				
	主体	町探検で感じたことや気付いたりわかったりしたこと，考えたこと，もっと知りたいと思ったことなどを友達に伝えたり，交流したりしようとしている。				
あつく なって 町は どこ が かわったかな （1時間） 町探検や日ごろの生活のなかで，町の自然や人々の生活の様子が春から夏に変化してきたことに気付き，伝え合うことができる。	知・技	季節が変わったことにより，町の自然や人々の生活が変化していることに気付いている。	p.32-33 ① 登下校時や休日などに，町たんけんで行った所の様子の変化を見取る。 ②発見カードをかいたり，情報交換をしたりする。	0.5	・登下校中や休日に，家の周りや町たんけんで行った場所の様子が夏になって変わったかどうかを見てくる。	●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。 ○家から離れた場所の町の様子を，子どもたちだけで見に行くことがないよう，安全指導を十分に行っておく。
	思・判・表	春に見つけたものが季節の変化に伴って変わった様子や新しく発見したことについて，場所やもの，町で出会った人とのかわり，見つけたことや気付いたことなどをカードにかき表している。				
	主体	春の探検の時に比べ町が変わった様子に関心をもち，安全に気をつけ，友達と協力して探検したり調べたりしようとしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
みんながつかう 場しょ に行ってみよう （2時間） みんなが使う公共物や公共施設の存在や，それを支える様々な人の存在に気付くとともに，ルールやマナーを守り，安全かつ大切に利用することができる。	知・技	みんなが使う場所(公共施設)に親しみをもち，そのよさに気付いている。	p.34-35 ① 町のなかに見られる公共物や公共施設について考える。 ② 見学の計画を立て，準備する。 ③ 公共物や公共施設を見学し，カードなどにまとめる。	0		●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。
	思・判・表	みんなが使う場所(公共施設)を利用して，気付いたことを自分なりに表現したりまとめたりしている。				
	主体	みんなが使う場所(公共施設)の利用の仕方を知り，進んで活用しようとしている。				

単元名

つくろうあそぼうくふうしよう

教科書 下巻 p.36 ～ 45

単元の配当時間 11 時間（そのうち※の時数 0.5時間）

単元の目標

身近にある物を使って動くおもちゃを作って遊ぶ活動を通して，試行錯誤を繰り返しながらおもちゃや遊び自体を工夫し，おもちゃの動きや面白さや不思議さに気付き， みんなで遊びを楽しんだり創り出したりできるようにする。

単元の評価規準

●知識・技能

動くおもちゃについて，動きの面白さや不思議さ， 遊びに使う物を作る面白さ， みんなで遊ぶ面白さに気付いている。

●思考・判断・表現

身近にある物を利用したおもちゃや遊び自体を， 試行錯誤を繰り返しながら工夫して作っている。

●主体的に学習に取り組む態度

おもちゃランドに向けて， 友達との繋がりを大切にし， より良い遊びや遊び方を創り出そうとしている。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
どんなあそびができるかな（1時間） 身近にある物で楽しく遊ぶことができるようにする。	知・技	集めた物の形や材質の違いに気付いている。	p.38-39	0		
	思・判・表	集めた物について，その特徴をとらえたり，できそうなことを考えたりしている。	①「わくわくボックス」をみんなで見て，どんな材料があるかを確認める。 ② 集めた物の特徴を生かして，並べたり転がしたりのぼしたりしながら遊ぶ。 ③ どんな遊びができたか，遊んでみた感想を話し合う。			
	主体	集めた物を使って，進んで遊ぼうとしている。				
どうすればもっと楽しくあそべるかな（2時間） 身近にある物から発想した遊びを楽しみ，より楽しく遊ぶ方法を工夫して， みんなで遊ぶことができるようにする。	知・技	集めた物の形や材質の特徴によって，いろいろな遊びができることに気付いている。	p.40-41	0		
	思・判・表	物の特徴（形や材質）を生かした遊びを考えたり，より楽しくなるように遊びを工夫したりしている。	① 集めた物でルールを作ったり，ゲーム化したりしてさらに工夫して遊ぶ。 ② 工夫したことを発表する。 ③ どんなおもちゃが作れそうか考え，計画を立てる。			
	主体	集めた物を使ったり，それらを組み合わせたりして，進んで遊ぼうとしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
自分で おもちゃをつくってみよう （5時間） 手作りおもちゃをみんなで一緒に動かして、みんなで楽しく遊ぶことができるようにする。	知・技	物の特徴を生かして工夫すると、いろいろな動きのおもちゃが作れることに気付いている。	p.42-43 ① おもちゃ作りの準備をして、作ったり遊んだりする。 ② 気付いたことや次にしたいことを発表する。 ③ 後片付けをする。	0		●キリやグルーガンなどは複数の児童が共有して使用することがないように、教師が代わりに行うようにする。
	思・判・表	自分が思う動きになるように、物の特徴を生かしながら工夫をしている。				
	主体	自分の思いや願いにそったおもちゃを作ろうとしている。				
みんなで あそぼう （3時間） 遊び方のルールや約束を決めて、みんなで楽しく遊ぶことができるようにする。	知・技	みんなで遊ぶには必要なルールや約束があること、それを守るとみんなで楽しく遊べることに気付いている。	p.44-45 ① おもちゃ大会について話し合い計画を立てる。 ②おもちゃ大会を開く。 ③ みんなで遊んだ時の様子や気付いたことを伝え合う。	0.5	・家の人楽しかったことや工夫したこと、気付いたことを話す。	●おもちゃ大会は、共用の作品を児童が使用することが想定されるため、感染症対策の観点から実施できない可能性も考えられる。 ○おもちゃ大会を開催しない場合は、空き教室やオープンスペースなどに子どもたちの作品を種類ごとに掲示・展示する活動に変更することも考えられる。 ○学級便りを通して、事前に保護者の方に、子どもからおもちゃ作りの報告があることを伝え、子どもの話を聞いて、質問や感想を言ってもらうように依頼する。
	思・判・表	おもちゃの動きを高めたり、みんなで楽しく遊ぶためのルールや約束を考えたりしている。				
	主体	みんなで遊ぶことに関心をもち、協力して遊びを楽しもうとしている。				

特設ページの目標と評価例

教科書 下巻 p.48～49

特設ページの配当時間 1 時間（そのうち※の時数 0時間）

ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

特設ページの目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
わくわく 夏休み （1時間） 夏休みのめあてについて話し合い、健康に気をつけて楽しく実りある生活ができるようにする。 身近な自然や地域の人々とかかわりを持ち、意欲的な夏休みを送ることができる。	知・技	夏休みも規則正しく健康や安全に気をつけて生活する大切さに気付いている。	p.48-49 ①1年生の時の夏休みの楽しかった思い出などについて話し合う。 ②夏休みの生活でやってみたいことを決める。 ③ 夏休みの計画を立てる。 ④夏休みのことをみんなに知らせる。	0		
	思・判・表	今年の夏休みにやってみたいことを考えて発表したり，しおりに記入したりして表現することができる。				
	主体	昨年の夏休みを振り返り，自分が夏休みにやりたいと思うことを見つけようとしている。				

単元名

みんな 生きて いる

教科書 下巻 p.50 ～ 61

単元の配当時間 9時間（そのうち※の時数 1.5時間）

生き物を飼ったり育てたりしながら，生き物が育つ場所や変化の様子に関心と親しみをもち，生き物も自分たちと同じように生命をもっていることに気づき，大切に関わろうとすることができるようにする。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
生きもののたんけんに 出かけよう（3時間） 生き物探検の準備をしたり，生き物が住んでいる場所の特徴に気付いたりすることができるようにする。	知・技	生き物の住んでいる場所の特徴に気付いている。	p.52-55 ① これまでの飼育経験を話す。 ② 学校探検で見つけたり出会ったりした生き物を紹介する。 ③ 生き物に会いに行く。	0		●活動前後に手洗い・うがいを行う。 ○熱中症対策を十分に行う。 ★なつの いきもの https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho/seikatsu/support/ikimono/summer_t.html
	思・判・表	友達と協力しながら，生き物探検の準備をし，生き物の住んでいそうな場所を考え，見つけたり，つかまえたりすることができる。				
	主体	生き物に興味・関心をもち，生き物探検の計画を立てたり進んでかかわろうとしている。				
かって みよう せわをしよう（2時間） 生き物が住んでいた場所を考えて，住みかを作ることができ，生き物が自分たちと同じように命をもち成長していることに気付くことができるようにする。	知・技	生き物が命をもち，成長していることに気付いている。	p.56-59 ① 生き物に必要な世話を話し合う。 ② 生き物との関わりを深める。 ③ 生き物を観察し，気付いたことを記録する。	1	・生き物に必要な世話を調べる。	○生き物に必要な世話を調べる際は，教科書p.115-117「生きもののかい方」を参考にしたり，本やインターネットを活用したり，詳しい人に聞いてみるなどの方法が考えられる。 ●活動前後に手洗い・うがいを行う。 ★アゲハをそだてよう https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho/seikatsu/support/ageha/
	思・判・表	・生き物の住んでいた場所の特徴を考えて，住みかを作ることができる。 ・生き物の世話を通して，気付いたことや発見したことを絵や文などで表現することができる。				
	主体	生き物の育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって世話をし，繰り返しかかわろうとしている。				

単元の評価規準

●知識・技能
生き物も人間と同じように生命をもっていることや成長していること，また，飼育する中で上手に世話ができるようになった自分自身の成長にも気付いている。

●思考・判断・表現
生き物の世話の仕方や接し方について自分なりに考えたこと，工夫したこと，それらを振り返り思ったこと，気付いたことなどを素直に表現している。

●主体的に学習に取り組む態度
生き物の変化や成長の様子，育つ場所などに関心をもち，飼育する生き物にとってより良い環境になるように，調べたり，人に聞いたりして工夫し，生き物に親しみ大切にしようとしている。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
みんなに見せよう 知らせよう（4時間） 継続して生き物を育て，わかったことや気付いたことを自分の言葉で自分なりに表現することができる。生き物に親しみをもち，大切にすることができるようにする。	知・技	・友達や異学年に教えてあげることの楽しさに気付いている。 ・毎日生き物の世話ができた自分の頑張りに気付いている。	p.60-61 ① 見つけたことや感じたことを紹介する計画を立てる。 ② 仲良くなった生き物を紹介する。 ③ 活動を振り返る。	0.5	・家の人に生き物と触れ合って見つけたことや気付いたことについて話す。	○学級便りを通して，事前に保護者の方に，子どもから生き物との交流の報告があることを伝え，子どもの話を聞いて，質問や感想を言ってもらうように依頼する。
	思・判・表	・継続して生き物を育て，わかったことや気付いたことを自分の言葉で自分なりに表現することができる。 ・生き物を大切に思い，これからどうするか相談したり，自分で決めたりすることができる。				
	主体	わかりやすく伝えるための準備をしている。				

単元名

もっと 行きたいな 町たんけん

教科書 下巻 p.62 ～ 77 単元の配当時間 19時間（そのうち※の時数 3.5時間）

単元の目標

町で生活したり働いたりしている人々との関わりを深める活動を通して、町の良さや町の人々の温かさに気づき、町の人々への親しみや愛着をもつとともに、相手に合わせて適切に接したり、安全に生活したりできるようにする。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
秋の 町を たんけんしよう（4時間） 秋の町の様子や変化に興味や関心をもち、目的をもって意欲的に調べたり、かかわったりする活動を通して、自分の住んでいる町への親しみや愛着を深めることができる。	知・技	季節の変化にともなう自然や町、人々の生活の変化に気付くとともに、繰り返しかかわることで、町のよさに気づき、愛着を深めることができる。	p.64-65	1	・自分の家の周りで秋になって変わったことを調べる。	○本単元については、町探検が可能になった段階で取り上げる。 ●活動後に手洗い・うがいを行う。
	思・判・表	秋の町探検で見つけたものや気付いたことを、絵や文章にまとめるとともに、友達との情報交換のなかで、自分の考えや感想をきちんと述べることができる。	① 夏から秋になって変わったことを話し合う。 ② 友達の話聞いて、自分の家の周りで秋になって変わってきたことを調べてくる計画を立てる。（個人・宿題など） ③ ミニ発見カードでかいたことを発表し合う。 ④ 春・夏に探検した所はどうなっているのか予想を立てる。もう一度探検する場所を決め、出かける計画を立てる。			
	主体	秋の自然や町、人々の生活の様子に関心をもち、進んで調べたり、かかわったりしようとしている。				
もっと いろいろ 話そう（4時間） 春に続き秋に行った町探検のなかで、さらに町の人とかかわり、そこで働く人の季節による様々な工夫に気づき、自分の考えを話すなど交流を深めることができるようにする。	知・技	春に続き秋に行った町探検で、新たな自然や町、人々の生活の変化に気付いている。	p.66-67	0.5	・町探検でもっと知りたいことや質問したいことを考えて、カードにかく。	●活動後に手洗い・うがいを行う。
	思・判・表	春に続き秋に行った町探検で見つけたものや気付いたことを、絵や文章にまとめるとともに、町の人との会話のなかで、自分の考えや感想をきちんと述べることができる。	① 春・夏に探検したお店・場所・人の所へ町探検に行く計画を立てる。 ② 春・夏の探検に比べ、もっと人とかかわり合うような探検に行くようにする。 ③ 探検に出かけ、探検先の人にいろいろ質問したり、見たりしてくる。 ④ 質問したり、見たりしたことを、学校に帰り、発見カードにかく。			
	主体	春に続き秋に行った町探検で気付いたことや、さらに 興味をもったことを進んでまとめたり、 解決したりしようとしている。				

単元の評価規準

- 知識・技能
町で働いている人や住んでいる人の町への思いや、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、自分の町の良さに気付いている。
- 思考・判断・表現
町の様々な場所や人と適切に関わることや、安全に生活することについて考えたり、町探検で気付いたことや教えてもらったこと、体験したことについて、自分らしい方法で表現したりしている。
- 主体的に学習に取り組む態度
自分が生活している町に関心をもち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して町の人との交流を深めたりしようとしている。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の回数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
どんな はっ見があったかな（5時間） 春に続き秋に行った町探検を通して、地域に住む人々とのかかわりや交流を深め、見つけたことをカードや床地図などで表し発表し合うなかで、自分の住む町にいつその愛着やよさを感じることができるようにする。	知・技	自分の住む町は、季節の移ろいで変化するものがあることや、住む人がみんなに優しい町であることに気付いている。	p.68-69	0.5	・家の人に町探検を通して楽しかったことや気付いたことを話す。	●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○学級便りを通して、事前に保護者の方に、子どもから町探検の報告があることを伝え、子どもの話を聞いて、質問や感想を言ってもらうように依頼する。
	思・判・表	町探検のなかで、地域の人々と積極的にかかわり、交流を深めるとともに、発見したこと、気付いたことや感じたことを素直に表現することができる。	① 各グループごとに見つけたことを発表する。 ② 発見したことや体験したことをまとめる計画を立てる。 ③ 秋の町探検を振り返ったり、調べたりして得た感動や発見の喜びを自分なりの方法で表現する準備をする。			
	主体	町探検のなかで、地域の人々と積極的にかかわり、交流を深めるとともに、発見したこと、気付いたことや感じたことを素直に表現しようとしている。	④発表会をして、調べたことや気付いたことを発表し合ったり、やってみたいことをおたがいに教え合ったりする。			
おれいの 気持ちを伝えよう（4時間） 校庭や公園など身近な自然で見つけた秋をじっくり観察したり比べたりする活動を通して、見つけたことを友達と伝え合い、季節の違いやその特徴に気付くことができるようにする。	知・技	春から秋の町探検でお世話になった町の人々にお礼の気持ちを伝えようと考えたり、店のポスターを作ったり、おすすめ商品の広告を作ったり、手紙を書くなど、工夫して表現しようとするなかで町のよさにあらためて気付いている。	p.70-71	1	・行った場所やお世話になった人のことを振り返り、相手の人に伝えたいことを考える。 ・新聞や手紙など、伝えたいことに合わせた表現方法を考え、協力し合って作品を作る。	●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○作品は、グループで作成するのではなく、個人で作成するなど、状況を見て、柔軟に対応する。 ○作品は、郵送などの方法で届けることも可能である。
	思・判・表	春から秋の町探検でお世話になった町の人々にお礼の気持ちを伝えようと考えたり、店のポスターを作ったり、おすすめ商品の広告を作ったり、手紙を書くなど、工夫して表現することができる。	①行った場所やお世話になった人のことを振り返り、相手の人に伝えたいことを考える。 ②新聞や手紙など、伝えたいことに合わせた表現方法を考え、協力し合って作品を作る。 ③友達の作品も受け止めながら、相手の人に作品を届け、自分が暮らす地域について気付きを深める。			
	主体	春から秋の町探検でお世話になった町の人々にお礼の気持ちを進んで伝えようと考えたり、店のポスターを作ったり、おすすめ商品の広告を作ったり、手紙を書くなど、工夫して表現しようとしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
さむく なって 町は どこ が かわったかな （1時間） 冬の町の様子や変化に興味や関心をもち、目的をもって意欲的に調べたり，かかわったりする活動を通して，自分の住んでいる町への親しみや愛着をいっそう深めることができるようにする。	知・技	冬の自然や町，人々の生活の変化に気付いている。	p.72-73 ①家庭学習の時間に冬になって変わってきたことを見つけてくる。 ②友達の発表を聞いてさらに気がついたことを発見カードにかく。 ③自分のかいたカードを発表する。 ④情報交換をする。	0.5	・登下校中や休日に，家の周りや町たんけんで行った場所の様子が冬になって変わったかどうかを見てくる。	●活動後に手洗い・うがいを行う。 ○家から離れた場所の町の様子を，子どもたちだけで見に行くことがないよう，安全指導を十分に行っておく。
	思・判・表	冬の町の様子で見つけたものや気付いたことを，絵や文にまとめるとともに，友達との情報交換のなかで，自分の考えや感想を発表している。				
	主体	冬の自然や町，人々の生活の様子に関心をもち，進んで調べたり，かかわったりしようとしている。				
いきいき 冬休み （1時間） 冬休みのめあてや計画を決め，健康で規則正しい生活を送るとともに，家庭における年末年始の役割をしっかりと果たすことができる。また，身近な地域や人々，自然と積極的にかわり，楽しい冬休みを送ることができる。	知・技	ふだんとは違う年末年始の町の様子や地域の伝統行事などへのかわりに気付いている。	p.76-77 ①冬休みの楽しみややってみたいことについて話し合う。 ②冬休みのめあてや予定を考える。 ③「冬休みのしおり」を作る。	0		
	思・判・表	自分なりに工夫して計画を立て，「冬休みのしおり」などにまとめている。				
	主体	冬休みを楽しく過ごし，自分のできることをきちんと果たそうとしている。				

単元名

つたえ合おう 町の すてき

教科書 下巻 p.78 ～ 85 単元の配当時間 7時間（そのうち※の時数 0.5時間）

単元の目標

これまでの町探検で気付いたことや季節を通しての町や人々の様子，多くの人との関わりや交流について，まとめたり，身近な人たちと伝え合ったりする活動を通して，自分たちの町の良さに気付いたり，町やそこに住む人々への愛着をいっそう深めることができるようにする。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
町たんけんを ふりかえろう（2時間） 1年間の町探検を振り返る活動を通して，季節の変化にともなって，自然の様子や町，自分たちの生活が変わってきたこと，そして，町の人の願いや工夫を知り，自分たちの住む町のよさにあらためて気付いたことなどをまとめることができるようにする。	知・技	自分たちの町の人の願い・おすすめ・工夫や，そこに住む人々とかかわることの楽しさに気付いている。	p.80-81 ① これまでの探検カードや絵地図などの作品を整理する。 ② 1年間の町探検を振り返って気がついたことやわかったことをまとめる。	0		○本単元については，町探検の実施状況に合わせて取り上げる。
	思・判・表	町探検を通して，見つけたり感じたりした町の人の願い・おすすめ・工夫について考え，その内容や理由について説明したりまとめたりしている。				
	主体	町探検のなかで，気付いたことや多くの人と交流をもてたことを友達や地域の方たちに伝えようとしている。				
町の すてきを まとめよう（2時間） 1年間の町探検を振り返る活動を通して，季節の変化にともなって，自然の様子や町，自分たちの生活が変わってきたこと，そして，自分たちが住む町のよさにあらためて気付いたことなどをまとめ，工夫して発表することができるようにする。	知・技	季節の移り変わりにともなって，自然や町の様子，自分たちの暮らしが変わっていることに気付いている。	p.82-83 ① 1年間の町探検を振り返り「町のすてきなところ」についてまとめる。 ② 「町のすてき」をまとめた作品をおたがいに見せ合い，意見交換する。 ③ 「町の すてきを つたえ合おう」の会の準備をする。	0		
	思・判・表	季節の移り変わりにともなう自然や生活の変化，町の人の願い・おすすめ・工夫・様子などについて考え，素直に表現している。				
	主体	1年間の町探検で見つけたことやわかったことを自分なりに表現したり，まとめたりしようとしている。				

単元の評価規準

●知識・技能

季節を通しての町の様子が分かり，町のいろいろな「すてき」に気付くとともに，町への親しみや愛着が増したり，人々と適切に交流することができるようになった自分自身の成長に気付いている。

●思考・判断・表現

町探検で気付いた町の良さや人々と関わることの楽しさについて考え，自分なりの方法で表現したり，発表したりしている。

●主体的に学習に取り組む態度

季節を通しての町の様子に対する関心や，町の人々や様々な場所に対する親しみをもって，これまでの町探検のまとめをし，友達や町の人々と伝え合おうとしている。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
町の すてきをつたえ合おう（3時間） 町探検や公共の施設の見学のまとめとして，個人やグループで展示や発表の方法を工夫し，招待した人たちとともに町のよさにあらためて気付く。	知・技	1年間の町探検の活動を通して，地域の人やものとのかかわりが深まり，自分自身も成長したことに気付いている。	p.84-85 ①「町の すてきをつたえ合おう」の会 の準備や最終確認をする。 ②「町の すてきをつたえ合おう」の会を行う。 ③「町の すてきをつたえ合おう」の会の感想や町のよさについて発表する。	0.5	・家の人に，自分の町の好きなところや素敵なところを話す。	●「町のすてきをつたえ合おう」の会は，感染症対策の観点から実施できない可能性も考えられる。 ○「町のすてきをつたえ合おう」の会を開催しない場合は，空き教室やオープンスペースなどに子どもたちの作品を種類ごとに掲示・展示する活動に変更することも考えられる。その場合は，「見てもらう人に伝わるようにしよう」などの目標をもって，まとめ方や掲示の仕方を工夫させるようにする。 ○学級便りを通して，事前に保護者の方に，子どもから町のすてきについての報告があることを伝え，子どもの話を聞いて，質問や感想を言ってもらうように依頼する。
	思・判・表	自分たちが住む町への思いや願い，町探検で気付いたことなどを考え，自分なりの方法で表現している。				
	主体	町探検について，自分やグループで展示や発表を工夫し，みんなで発表会や交流会を楽しもうとしている。				

単元名

これまでの わたし これからの わたし

教科書 下巻 p.86 ～ 100 単元の配当時間 14 時間（そのうち※の時数 4.5時間）

単元の目標

自分自身の成長を振り返る活動を通して、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

小単元の目標と評価例

ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
とくいな ことを見つ けよう（3時間） 自分自身の成長に関心を持ち、自分の得意なことや、自慢したいことを見つけて発表会をすることにより、自分や友達が成長していることに気付くことができるようにする。	知・技	現在の自分や友達には、得意なことや自慢したいことがたくさんあることに気付いている。	p.88-89	1	・小学校に入学してから、できるようになったこと、得意なことを考える。	○本単元では、自分の成長を調べるために、保護者を中心に様々な人に尋ねたり、感謝の気持ちを伝えたりする活動を行う。単元に入る前に、活動内容を家庭に伝えて理解を得て、協力してもらうようにする。その際は、各家庭への配慮を十分に行い、不都合がある場合は、事前に丁寧に対応しておく。
	思・判・表	学校、家庭、地域での生活のなかで、できるようになったことを自信をもって発表したり、友達のよさを見つけたり、友達に伝えたりしている。	① できるようになったこと、得意なことを考え、できるようになったことを教える発表会の準備をする。 ② 「できるようになったこと発表会」をする。 ③ 発表会を振り返って、自分ができるようになったことや友達の成長したわけについて話し合う。			
	主体	自分自身の成長に関心を持ち、自分の得意なことや、自慢したいことを見つけて発表会をすることにより、自分や友達が成長していることに気付くことができる				
自分たんけんを しょう（3時間） 自分が小さかったころのことを家族に聞いたり、調べたりすることにより、多くの人々の支えにより、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことがわかる。	知・技	小さいころの写真や作品、使っていた物などや身近な人の話から、自分の成長にかかわった人の思いに気付いている。	p.90-91	1	・小さい頃に どんなことがあったか、家族や幼稚園の先生などにインタビューをする。	
	思・判・表	小さかったころの写真や作品などをもとにしたり、成長を支えてくれた人にインタビューをしたりして、過去の自分と現在の自分とを比較して考え、一人でできるようになったことがわかる。	① 「小さかったころ発表会」をする。 ② どんなことがあったか、家族や幼稚園の先生などにインタビューをするための準備をする。 ③ インタビューをして気付いたことや思ったことを、付せん紙やカードに書く。			
	主体	生まれてから現在までの間で自分ができるようになったことや、自分の体が大きくなったことに関心を持ち、自分の成長を調べようとしている。				

単元の評価規準

●知識・技能

自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、内面的な成長や自分自身の良さが分かり、これからも成長できることに気付いている。

●思考・判断・表現

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、過去の自分自身や出来事を、現在の自分と比較して考えるとともに、自分の成長を支えてくれた人々との関わりについて考えている。

●主体的に学習に取り組む態度

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
自分のものがたりを作ろう（4時間） 自分自身の成長を振り返り，自分らしい成長の記録を作ることにより，自分の役割が増えたことに気付いたり，自分のよさを自覚したりすることができる。	知・技	自分でできることが多くなったことや，役割が増えたことなどがわかる。また，成長を支えてくれた，周りの人に喜びを感じさせることができていたことに気付いている。	p.92-93	2	・「自分のものがたり」の本や巻物などを作る。	
	思・判・表	自分自身の成長を振り返り，自分の成長について考え，表現方法を工夫しながら「自分のものがたり」を作っている。	① 集めたカードや付せん紙，写真などをもとにまとめ方を考える。 ② 「自分のものがたり」の本や巻物などを作る。 ③ 完成した「自分のものがたり」を交換して見せ合ったり，コメントを書き合ったり，感想を話し合ったりする。			
	主体	自分の成長を「自分のものがたり」としてまとめることに関心をもち，表し方を工夫したり，足りないところを調べ直したりしようとしている。				
ありがとうをつたえよう（2時間） 自分の成長には，多くの人々の支えがあったことに気付き，それらの人々に感謝の気持ちを伝えることができる。	知・技	自分が大きくなったり，自分でできるようになったりするなどの成長には，多くの人の支えがあり，大切に育てられたことに気付き，感謝の気持ちを表すことの心地よさを感じている。	p.94-95	0.5	・自分の成長を支えてくれた人に伝えたいメッセージを手紙に書く。 ・自分の成長を支えてくれた人に，手紙（メッセージカード）を届けたり，「自分のものがたり」の本などを読んでもらったりする。	○学級便りを通して，事前に保護者の方に，本単元の活動のねらいを伝え，子どもから，保護者の方へ手紙を渡したり，感謝の気持ちを伝えたりした場合は，受け止めてもらうよう依頼しておく。 ○お世話になった近所の人に手紙を自分で届ける場合には，必ず保護者と一緒に行くよう，家庭との連携を深めておく。
	思・判・表	自分の成長を支えてくれた人々とのかわりについて考え，自分なりの方法を工夫しながら，感謝の気持ちを伝えている。	① 自分の成長を支えてくれた人に伝えたいメッセージを手紙に書く。 ② 手紙（メッセージカード）を届けたり，「自分のものがたり」の本などを読んでもらったりする。 ③ 教科書P.96～97のイラストを見ながら，みんなに守られている自分について話し合う。			
	主体	自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち，自分の気持ちを素直に表した手紙やカードを作成し，感謝の気持ちを伝えようとしている。				

小単元名と小単元の目標	評価規準（B基準：おおむね満足できる）		活動の流れ	※の時数	※学校の授業の場以外での学習が可能と考えられる活動	備考（○＝指導に関する補足，●＝感染症対策の例，★＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
明日に むかって すすもう（1時間） 自分のよさや可能性に気付き，友達のいいところや優しさを感じながら，友達と将来の自分について話すことにより，これからの成長への願いをもつことができる。	知・技	自分のよさや可能性に気付き，友達も自分もこれからの生活や夢に希望をもっていることに気付いている。	p.98-99 これまでの自分について振り返ることにより，これから自分はどうしていきたいのか，「もっと人の役に立ちたい。」「挨拶ができるようになりたい。」「優しい人になりたい。」などについて考える。	0		
	思・判・表	友達と将来の自分について話すことにより，これからの成長について考えている。				
	主体	友達のよさ，優しさを感じながら，これからの成長への願いをもって，意欲的に生活しようとしている。				
大人に なったら（1時間） 大人になったらどんな人になりたいのか，書くことにより，夢に向かって意欲的に生活できるようにする。	知・技	大きくなってからなりたい自分に向かって生活するためには，自分に自信をもって，明るく元気に過ごすことが大切であることに気付いている。	p.100 自分の夢や希望をもとに，大人になったらどんな人になりたいか文に書き，友達と見せ合う。	0		
	思・判・表	「大人に なったら」のページやカードに，大人になったらどのような人になりたいか書くことにより，将来への夢について考えている。				
	主体	これからの自分の成長や希望に関心をもち，未来の自分の姿を考えたり，自分の願いを表現したりして，これからの生活に自信と意欲をもつ。				